

平成30年度TQM発表会報告書

TQM推進部会

日時：平成30年12月20日(木)17:30～19:00

場所：健診センター2階大講堂

参加者：58名

発表：4チーム 発表時間10分

◎=発表者

テーマ	チーム名	メンバー	発表内容
パソコンカートの整理・整頓	美しいカートを目指し隊 (3階東病棟)	◎松浦咲生里 伊達美和 吉原由美	3階東病棟では勤務終了後も電子カルテカートが片付けられていない現状があった。そこで、電子カルテカートの理想的姿を写真で示し、スタッフに周知し、チェックを行った結果、電子カルテカートの片づけ率が0%から活動2か月後には100%となったが、最終的に84%迄あげることができた。今後もチェックを続けていきたい。
透析患者と院外薬剤師の顔の見える関係性を目指して ～内服薬受け取り方法の改善への取り組み～	縦糸&横糸&斜め糸 (透析室・薬剤科)	◎田部千鶴 小田さつき 中村武司	透析患者の内服薬は、院外薬局で調剤され、透析室へ配達され、透析室看護師が患者に手渡している現状であった。患者は薬剤師による薬剤指導を受けることができないということに合わせ、業務改善となるのではないかと処方薬の受け取り方法改善に向け、活動を行った結果、院外薬局での受け取りが20%から100%となった。今後居宅サービスの紹介や院外薬局との連携を図れるよう活動していきたい。
進め 安心の輪！和!!!!!! VI ～検査待ち時間短縮の取り組み～ ～「その1秒を削り出せ」～	検査科・外来・医事課・暮らしサポートチーム	◎村川真一 熊澤鈴子 阿川純子	平成18年頃から検査待ち時間、短縮の取り組みをおこなってきたが、患者満足度調査において待ち時間の評価が悪い、患者さんの声で投書などがあったことなどから再度採血時の待ち時間の短縮をテーマにTQM活動を取り組んだ結果、採血を担当する看護師、受付職員の集中増員により、採血待ち時間3分以上待った患者が86%削減できた。
ベッド周りのコード整理を徹底しよう ～2階病棟のプチ5S活動～	ベッド周りをすっきりさせ隊 (2階病棟ICU)	◎井上ゆみ 中川かおり	2階病棟・ICUでは、多種多様なME機器に囲まれた状況でクリティカル治療や看護が行われている。介入前のベッド周りは、コードが床に散乱している状況にあり、安心・安全な治療や看護が出来るだろうかと疑問に感じた。また、前年度、STバンドを導入したが、浸透しなかった。そこで、STバンド使用のための周知(手順書・写真・ポスター)、定点調査を行い、フィードバックを繰り返した結果、整理できている割合が27%から76%に上昇した。

以上の発表を最初から聞いた方に上位1チームを選んでもらい投票、上位2チームが決定した。

1位 ベッド周りをすっきりさせ隊 (2階病棟ICU)

2位 縦糸&横糸&斜め糸 (透析室・薬剤科)